

Keep on Smiling 学校だより

第4号

～キーフ オン スマイリング～

県立はまなす特別支援学校
令和6年3月21日(木)

今年度を振り返って

校長 小林 俊明

今年度は5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが2類から5類に引き下げになったことに伴い、学校の教育活動も新たな一步を踏み出すことができました。

ここで少しコロナ禍の学校生活を振り返ってみます。学校では、日々の感染症対策(消毒、換気、パーティションの設置等)、感染者が出た場合の対応(濃厚接触者の特定、児童生徒職員の自宅待機、関係者への連絡、県への報告等)、教室・体育館への入室人数の制限、教育活動の制限(対面での会話、給食の食べ方、合唱、調理実習等)、修学旅行・宿泊学習・校外学習の中止・制限、保護者の入校規制等で児童生徒・保護者の皆様・学校職員全ての方が気の抜けない毎日を過ごし、気分が落ち込むことも多くありました。学校では新型コロナ対応に実に多くの時間を費やしました。今思うと、よく乗り越えたなあというのが正直な気持ちです。

しかし、コロナ禍の期間は、これからの学校の在り方を考える好機にもなり、学んだことも多くありました。いくつか挙げますと、これまで慣習で行ってきた教育活動・業務の見直し、ICT教育推進の必要性、オンラインによる授業・会議・研修会の有用性、非常時の危機管理の重要性等です。コロナ禍で学んだ教訓、コロナ禍で改革した教育内容を今後につなげていくことが大切であると感じています。

今年度は、新型コロナ・インフルエンザによる学級・学年閉鎖が一部ありましたが、それ以外は年度当初に計画した教育活動がほぼ予定どおり実施できました。特に運動会、修学旅行・宿泊学習、はまなす作品展等が実施できたことで学校生活にめりはりと潤いをもたらされました。これにより、昨年に比べ、児童生徒の笑顔を見る機会が格段に多くなりました。本当に「通常の有難さ」を感じました。ここまで数々の辛いことを乗り越えてきた子どもたち、感染症対策に協力し、子どもたちをずっと支えてくださった保護者の皆様にお礼を申し上げます。

このままいくと次年度は4月から進化した学校の教育活動がスタートできそうです。私は兼ねてより地域と連携した学校づくりを目指してまいりましたが、感染症の影響もあり、この部分が少し停滞しておりました。次年度は、はまなす特別支援学校の情報をさらに発信しつつ、地域の方々との交流・連携をより深めていきたいと考えております。保護者の皆様には、引き続きご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。

はまなす作品展

それぞれの各学部・コースの創意工夫ある個性豊かな作品が展示され、廊下を華やかに彩りました。児童生徒たちは、「本物みたいでおいしそう。」「かわいい。」などの感想を口にしたり、鑑賞カードを使って作品の感想をメモしたりする姿が見られました。

また、今年は地域に開かれたはまなす作品展として、ポスターや案内で地域や関係機関に広報し、多くの方々からご来場いただきました。頂戴したアンケートからも「一生懸命制作したことが伝わりました。」「素敵な作品でした。」などご好評いただきました。ありがとうございました。



卒業・進級を祝う会



新年度4月の予定

- | | |
|--------------------------------|---|
| 8日(月) 始業式 11:40~12:00下校(給食なし) | 18日(木) PTA第1回役員会 |
| 9日(火) 入学式 11:40~12:00下校(給食なし) | 22日(月) 諸経費振替日 |
| 10日(水) 給食開始(小1年は12日(金)から) | 23日(火) 13:00~13:30下校
(柏崎市、刈羽郡学校教育研究会のため) |
| 11日(木) 身体測定、視力・聴力検査(高A) | 24日(水) 歯科検診(高A、Bコース) |
| 12日(金) 身体測定、視力・聴力検査(中A) | 25日(木) 学習参観、PTA総会 |
| 15日(月) 身体測定、視力・聴力検査(小A)、PTA三役会 | 26日(金) 心電図(各学部1年)
胸部レントゲン(高1年) |
| 16日(火) 身体測定、視力・聴力検査(Bコース) | |
| 17日(水) 尿検査 | |